

# 「未来を生きる力」を育む教育へ

校長 石田 雄介

桜の花びらが舞う新年度がスタートしてはや1か月、子どもたちの明るい声と笑顔が学校に戻り、元気に新学期を始めることができたことをたいへん嬉しく思います。五泉南小学校の教育目標である“自分で考え たくましく生きる子ども”の具現に向け、子どもたちの成長のために熱く燃えている全職員で知恵を出し合い、子ども一人一人に確かな力を付ける教育を努力し進めて参ります。

さて私は、始業式でやる気に満ちあふれる全校の子どもたちに次のような話をしました。

**大切な話をします。**

それは、「皆さんが目指す目標」です。そう、「自分で考え たくましく生きる子」です。

6年間でこの目標を達成するための、**皆さんの合言葉は、「み・な・み」**です。

## 「み=みんな笑顔でありがとう」

- ・勉強も活動も、互いに笑顔で進めると楽しくなります。みんなが笑顔で過ごせるように、「ありがとう」の声をかけ合い、気持よく生活しましょう。

## 「な=なやみを出し合える仲間になろう」

- ・なやみには3つの大物「どうよ」があります。[どうしよう、うまくいかない、よくわからない]です。学習や生活で困ることは誰にでもあります。悩みを出し合い、話し合える仲間 聴き合える仲間を目指しましょう。

## 「み=未来を見つめ、チャレンジしよう」

- ・「こんな自分になれるといいな」という未来の「なりたい自分」を見つめて、めあてや目標を決めましょう。そして、それに向けて進んでチャレンジをしましょう。

うまくいかないことの方が多いかも知れませんが、でも、挑戦することで、成長はできます。始めからあきらめず、まず、やってみましょう。

この3つが合言葉「み・な・み」です。

未来を背負う子どもたちが生きる現代社会は、情報化やグローバル化が予測以上に進んでいます。また今後はA. I. (人工知能)の急速な進化が職業に大きな影響を与え、新型コロナ禍もあって、より複雑で予測困難な社会となると言われています。このことは、子どもたちの生き方にも大きな影響を与えます。ですから、学校教育は「来る未来に通用する生きる力」を子ども一人一人に育む役割を大きく担うことは言うまでもありません。

このような中、文科省から告示された新しい学習指導要領による教育2年目の今年は、「主体的・対話的で深い学び」「ICT教育の充実」等、新たな内容や改善すべきことに学校現場での取組が求められています。五泉南小学校も、これまでの授業づくりや教育活動を見直し、新しい時代の教育へ向けて舵を切る取組を継続・充実させていく今年度にして参ります。

始業式で、ステージから遠い距離からでも、しっかりと目を見て話を聴いてくれた子どもたちの姿に、私は感動しました。この素晴らしい南っ子の笑顔があふれる学校を目指し、全職員で「未来を生きる力を育む教育」を進めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。